



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

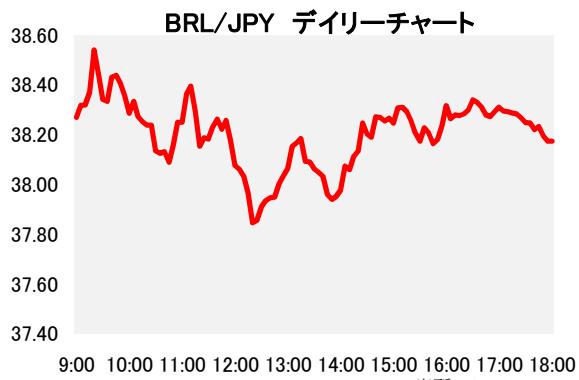
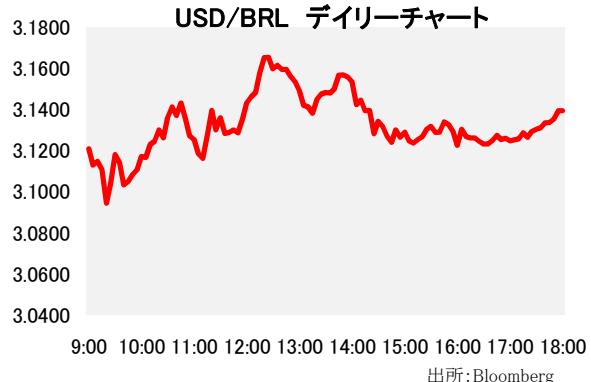
1. マーケット・レート

| | | | 3月18日 | 3月19日 | 3月20日 | 3月23日 | 3月24日 | Net Chg |
|-----|------------------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 為替 | USD/BRL | Spot | 3.2110 | 3.2920 | 3.2310 | 3.1320 | 3.1400 | +0.0080 |
| | BRL/JPY | Spot | 37.42 | 36.72 | 37.15 | 38.21 | 38.17 | -0.04 |
| | EUR/USD | Spot | 1.0868 | 1.0658 | 1.0820 | 1.0947 | 1.0923 | -0.0024 |
| | USD/JPY | Spot | 120.11 | 120.81 | 120.03 | 119.72 | 119.74 | +0.02 |
| 金利 | Brazil DI Future | 6MTH(p.a.) 1Year(p.a.) | 13.020 13.600 | 13.537 13.755 | 13.473 13.690 | 13.425 13.615 | 13.395 13.587 | -0.030 -0.028 |
| | On-shore USD | 6MTH(p.a.) 1Year(p.a.) | 2.121 2.915 | 2.281 3.076 | 2.283 2.998 | 2.294 3.022 | 2.267 2.956 | -0.027 -0.066 |
| 株式 | Bovespa指数 | | 51,526 | 50,954 | 51,967 | 51,908 | 51,506 | -402 |
| CDS | CDS Brazil 5y | | 295.21 | 303.49 | 295.62 | 287.96 | 279.86 | -8.10 |
| 商品 | CRB指数 | | 212.040 | 210.991 | 214.109 | 215.755 | 215.531 | -0.22 |

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 |
|--------------------|----------|----------|-----------|
| Federal Debt Total | -- | 2330B | 2247B |
| 経常収支 | -\$7500M | -\$6879M | -\$10654M |
| 海外直接投資 | \$3200M | \$2769M | \$3968M |
| 税収 | 91000M | 89982M | 125282M |
| (米)消費者物価指数(前月比) | 0.2% | 0.2% | -0.7% |
| (米)マーキット製造業PMI | 54.6 | 55.3 | 55.1 |
| (米)新築住宅販売件数 | 464K | 539K | 500K |
| (米)リッヂモンド連銀製造業指数 | 3 | -8 | 0 |



3. 要人コメント

| | |
|-----------|--|
| トニビニ伯中銀総裁 | ブラジル中銀は為替スワッププログラムの規模を減らすことを急がない。中銀は十分な通貨防衛策を提供する。 |
|-----------|--|

4. トピックス

- 本日のドルレアルは3.1280で寄り付いた。朝方は海外市場の流れを受け継いでドル売り優勢となり、レアルは本日高値となる3.0930をつけた。しかし、発表された米消費者物価指数が前月からプラスに転じるとドルが反発した。その後発表された2月の米新築住宅販売件数が予想を大きく上回り、前月分も上方修正されたことを受けてドルが続伸し、レアルは本日安値の3.1710まで売られた。良好な米2年債入札結果を受けて、米金利が低下するとドルは反落し、レアルは3.12近辺まで反発したが、期待されていた為替介入プログラムの延長について中銀からアナウンスがなかったことからレアルは上値重く推移した。結局3.1400でクローズ。
- トニビニ伯中銀総裁が上院委員会で発言し、2015年は変わり目の年であり、年の後半には経済の状況が好転し、貿易収支が黒字に転じるとの見通しを述べた。金融政策は警戒を維持するとし、為替スワッププログラムはプラスの効果を出してきており、規模縮小を急がないとの見解を示した。しかし、プログラムの期間延長について明言はなく市場の失望を買った。一方でレアル安によって海外からの投資の魅力が上がっているとも述べ、現在の為替の水準について懸念は示されなかった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。